

巨べら専用浮き - Mania Dobon PT [豪]G 取扱説明書

この度は、巨べら専用浮き - Mania Dobon PT LType [豪] Gにご興味をお持ち頂き有難う御座います。
Mania シリーズは、その名の通り「巨べら専用浮き」にて仕上げております。

又、使用する際に特別な技術等は必要無く、誰にでもご愛用頂ける様、設計して有ります。そしてこの「Mania シリーズ」を使い、皆様方の夢が叶う事を切に願っております。

以下に [Mania Dobon PT LType - 豪 G] の特徴を記載します。

- * S シリーズは「スモールタイプ」の略になります。
 - * LT シリーズは「ライトタイプ」の略になります。（銘柄文字表記のみ）
 - * HT シリーズは「ハードタイプ」の略になります。（銘柄文字表記のみ）
 - * G シリーズは「グレートタイプ / トップ 2.3mm 径」の略になります。（銘柄文字印刷）
 - * SG シリーズは「スーパーグレードタイプ / トップ 2.8mm 径」の略になります。（銘柄文字印刷）
- 補 足：同銘柄・同使用タイプにて [HT シリーズ / LT シリーズ] 表記をしております。
尚、本体ボディ等には、上記の文字表記はしておりませんのでご注意ください。

- ① ライトドボン釣り専用（中通し/外通し）タイプになります。* SP ライトドボンでも使用可
 - * 緩やかな流れを伴う釣り場、ウネリが出る釣り場にて威力を発揮します。
 - ② パールトップ（ストレート/2.3mm 径仕様）
 - * 意図的に目盛りを細かく仕上げて在ります。
 - ③ 「3 枚合わせ / デブトップ仕様」により強力な浮力を実現してます。
 - ④ 浅瀬向きタイプで他の浮きには無い「アタリ」を演出します。
 - ⑤ 「上下」共に動く「ライトドボン」に特化したバランス設計になってます。
- * Mania シリーズは「グラン鉤 / がまかつ鉤 / オーナーばり」を使用し設計しております。

以下に [Mania Dobon PT LType - 豪 G] の標準的な使用方法に付いて記載します。

1. 銘 柄：Mania Dobon PT LType 豪 G
[注 印字表記 / Mania Dobon PT 豪 G / ライトドボン・SP ライトドボン専用タイプ]
2. 用 途：巨べら釣り専用ライトドボン釣りタイプ * SP ライトドボンでも使用可

3. 仕様

- (1) ボディ:孔雀羽根 3 枚合わせ / 10.0mm ~ 10.2mm (仕上り径)
- (2) ソリッド脚 : 長さ 6.5cm ~ 8cm / 元 3.3mm / 中央 2.0mm / 差込部 1.5mm 径 (仕上り径)
- (3) トップ: パールトップ / 2.3mm 径 ストレートタイプ
- (4) サイズ: 4 タイプ (ボディ / 6.5cm / 7cm / 7.5cm / 8cm)
トップ長さ (11cm / 12cm / 13cm / 14cm)

4. 使用方法

通常ドボン使用時、ゆっくりと沈みきるオモリで調整し「エサ」を付けた状態で、水面等が穏やかな場合、上から 3 番目の「パイブトップ」下にて使用するのが最も良い。

又、食い渋り時は、上から 2 番目の下にて・逆に水面等にウネリが在る場合は、上から 3 番目 or 4 番目の下にて使用すると良い。

* 注 / SP ライトドボン時には、板オモリ or 通しオモリ等を使用し「やっと沈み切るオモリ量」を付けトップ 3~4 目盛りが出た状態で釣りをスタートする。尚、その時々で「オモリ」の重さ (号数等) を変更して対応する。

* 使用する「条件等」により、エサ落ちを変更して下さい。

* 浅瀬・弱流等にて「ライトドボン」を希望の場合「Mania Dobon PP 颯」と使い分けて下さい。

* 流れを伴う河川にて「ドボン等」を希望の場合「Mania Dobon GP 颯」or「Mania Dobon PP 颯 G」をご使用下さい。

* 尚、カンザシ浮きと違い「激流等」には不向きです。

(但し、通常の河川での弱流には十分対応可能です)

* 馴染み幅は使用する「ハリ等」の大きさにより異なります。

5. 以下にハリ等の号数目安を記して置きます

* 他のメーカーでも大丈夫です。

> Mania Dobon PT 豪 0 号 (オーナーはり・セッサ / がまかつ ギガボトム・ボトムマスター等)

> Mania Dobon PT 豪 1 号 (オーナーはり・セッサ / がまかつ ギガボトム・ボトムマスター等)

> Mania Dobon PT 豪 2 号 (オーナーはり・セッサ / がまかつ ギガボトム・ボトムマスター等)

> Mania Dobon PT 豪 3 号 (オーナーはり・セッサ / がまかつ ギガボトム・ボトムマスター等)

6. ハリスの長さ (お勧めの目安)

ハリス [短ス / 15cm ~ 30cm 程度] [長ス / 30cm ~ 60cm 程度]

* 通常「通し仕掛け」のハリスの長寸は、短ス 20cm / 長ス 35cm が基本。

又、段差も「15cm」が基本ですが流れが等が伴う場合、広げる事も有効です。

7. 仕掛けを作る際は、「マルカン」や「スイベル」等をお勧めします。

又、仕掛け等は、ご自身の愛用されてる物で大丈夫ですが、感度を最大限に上げるので有れば「巨べら師養成所 / ドボンを極める!」ページを参照下さい。

* 「ライトドボン」にて釣りたい場合も、下記のページに詳細が記載して御座います。

⇒ <https://www.big-hera.net/dobon/>

「巨べら師養成所 / 片金を極める!」ページを参照下さい。

* 「ハリスオモリ」にて釣りたい場合も、下記のページに詳細が記載して御座います。

⇒ <https://www.big-hera.net/katakin/>

8. 次に「ライトドボン」をする時は「外通し釣り」仕掛けが基本です。ナス型オモリと板オモリを兼用して下さい。

* 「中通し釣り」をする時もオモリ号数等は同じです。

* 板オモリにて「ライトドボン」をする時は、微調整を必ず行って下さい。

* 尚、「軽過ぎ」るオモリや「重過ぎ」るオモリは、釣果もさる事ながらそれ以前の「触り」や「アタリ」を出さなくなる原因になります。

状況によりオモリ等を使い分けて下さい。

補足： Mania Dobon シリーズは「流れ対策の浮き」用途だけでは御座いません。

「食い渋り」や「静止水」等の時でも、十分ご利用頂けます。お試し下さい。

注意： 現在、Mania Dobon シリーズにて「激流」に対応するアイテムは御座いません。

通常河川での流れでしたら十分に対応出来ますが、予めご承知の程お願い致します。

9. 使用する「竿」「道糸」「ハリス」「浮き」「ハリ」等の目安

> 水深：50cm ～ 1.0m 程度 / 豪 G [6.5cm タイプ]

> 水深：1.0m ～ 1.5m 程度 / 豪 G [7cm タイプ]

> 水深：1.5m ～ 2.0m 程度 / 豪 G [7.5cm タイプ]

> 水深：2.5m ～ 3.0m 程度 / 豪 G [8cm タイプ]

> 道糸 / 1.5号以上

> ハリス 0.6号以上

> ハリ号数 / グラン 重沈 6号 ～ がまかつ ボトムマスター 8号 ～

> ゴム管 / 各メーカーサイズ (小～中) をご利用下さい。

上記は、あくまで標準的な使用方法です。ケースにより上記と違った利用方法があるかと思えます。又、全て「手作り」の為、同じ号数タイプで有っても、全てが同等では御座いません。予めご了承下さい。

しかし、ご愛用頂く「巨べら師」の使い方により使用方法は、無限に広がります。

この「Mania シリーズ」は、何度も実践し、又、扱い易くする為にテストを重ねました。
そんな「巨べら釣り専用浮き - Mania」が、皆さんの「巨べら釣り」において、役立てるアイテムになる事を心より願っております。

= 注意事項 =

事を心より願っております。

= 注意事項 =

[Mania Dobon PT LType 豪 G] は、巨べら釣り専用浮きの為、意図的に「浮き」自体に「浮力」を出してあります。故に [太仕掛け / 大エサ] に耐えられる仕様になってます。又、[Mania Dobon PP LType 颯]と使い分けると効果的になります。

尚 [細仕掛け] 等に対応はしておりません。上記記載の仕掛け以下でのご使用は、トラブルの原因になりますので決してご利用にならないで下さい。

追 伸

現在、YouTube にて「へらマニア - Mania」チャンネルを開設し「マニア実釣動画」や「仕掛けセッティング動画」「Mania Monitor 動画」等を随時更新中です。又「Mania 浮き」を使用したモニター動画も発信中です。ご興味のある「浮き」が御座いましたら、是非・YouTube にて「へらマニア」チャンネルを閲覧下さい。そして「チャンネル登録」も宜しくお願い致します。

こちらの URL からぜひチャンネル登録をお願いします。

https://www.youtube.com/channel/UCJMKycV0Yy6i6ZEMeYjTSjg?sub_confirmation=1

巨べら釣り専用浮き - Mania
製作者 へらマニア / 稲川 理